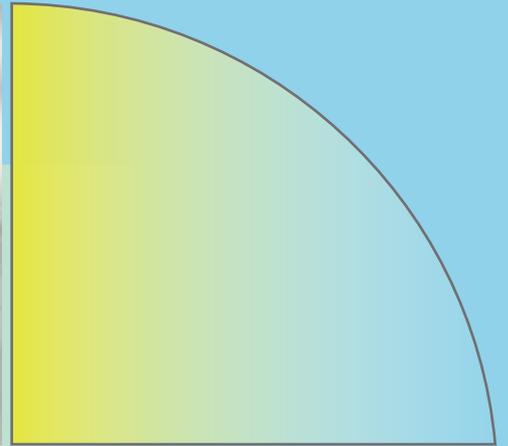


北海道のクラフト作家
作品展示・販売

The VEST POCKET displays and sells
craft works by artists from Hokkaido.



Craft Gallery

春の森、夏の森

VEST POCKET

4. 19 Sat.

8. 31 Sun. 09:45-17:00

[6. 1-8. 31 09:45-17:30]

ベストポケットでは、主に北海道内で活動するクラフト作家の作品を展示・販売しています。作り手と使い手を結ぶ場として 24 名のクラフト作家の陶磁器、テキスタイル、木工、ガラス、金工などの作品を取り揃えています。

日々の暮らしを彩る品、来園の記念や贈り物、旅のお土産など、地元の方から遠方の方まで幅広くご利用いただいています。



芸術の森

検索

<https://artpark.or.jp/>

※出展作家はホームページより
ご覧いただけます。

※掲載作品と展示内容が
異なる場合や、会期や内容等に
変更が生じる場合がございます。
最新情報はホームページをご確認ください。

札幌芸術の森 工芸館 展示ホール
クラフトギャラリー“ベストポケット”
(札幌市南区芸術の森 2 丁目 75 番地)



コスチュームジュエリー 美の変革者たち

2025.4.19(土) - 6.22(日)
札幌芸術の森美術館

シャネル、ディオール、スキャパレリ 小瀧千佐子コレクションより



(左) シャネル《ネックレス「花」
モチーフ》制作：メゾン・グリボワ、
1938年、パート・ド・ヴェール・エ
ナメル ガラス、メタル、個人蔵
(中央) クリスチャン・ディオール
《ネックレス、イヤリング》デザイン：
ロジェ・ジャン＝ピエール、制作：ミッ
シェル・メイヤー、1954年頃、ライ
ンストーン、模造パール、メタル、
小瀧千佐子蔵
(右) スキャパレリ《ネックレス
「葉」》デザイン・制作：ジャン・ク
レモン、1937年頃、クリアエナメル
彩メタル、メタルメッシュ、個人蔵

宝石や貴金属を用いず、ガラスや貝、樹脂など多様な素材で制作される装身具・コスチュームジュエリー。宝飾品の既成概念から解放され、20世紀初頭のポール・ポワレを先駆けに、以降シャネルやディオール、スキャパレリなど、フランスのオートクチュールのデザイナーたちがこぞって取り入れ、自由な発想と多様な素材で、個性豊かな作品が次々と誕生しました。

コスチュームジュエリーは、ヨーロッパを起点に戦後アメリカへも広く普及します。女性の社会進出が進む当時の世相と相まって、彼女たちの自立と個性を表現するアイテムとして絶大な支持を得ました。働く女性が自分のために装身具を選ぶ時代が訪れたのです。

本展では、コスチュームジュエリーの世界的なコレクターである小瀧千佐子氏のコレクションから約450点の作品を展覧し、コスチュームジュエリーの歴史的展開とその魅力を紹介します。モードの激動の時代を生き抜いたアーティストたちが創造した、自由で独創的な様式美の世界をご堪能ください。

開館時間：9時45分～17時（6月は17時30分閉館）※入場は閉館の30分前まで

休館日：4月21日（月）、4月28日（月）

観覧料：一般1,600(1,400)円、高校・大学生1,000(800)円、小・中学生500(300)円

*（）内は前売または20名以上の団体料金 *小学生未満無料

*65歳以上の方は当日料金が1,400(団体1,200)円になります。年齢の分かるものをご提示ください。

*障がい者手帳をお持ちの方は、当日窓口でご提示いただくと、ご本人と付き添いの方1名が無料になります。

主催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）、STV札幌テレビ放送、北海道新聞社

監修：小瀧千佐子

特別協力：ウィリアム・ウェイン（コスチュームジュエリー研究家／イギリス、ロンドン）

学術協力：ディアンナ・ファルネッティ・チェーラ（コスチュームジュエリー研究家／イタリア、ミラノ）

協力：chisa、株式会社世界文化社、STVラジオ 企画協力：株式会社キュレーターズ

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ、札幌市、札幌市教育委員会

札幌芸術の森美術館所蔵品展

W. S. クラークの像

札幌農学校初代教頭であるウィリアム・スミス・クラーク（1826-1886）は、わずか8か月余りの札幌滞在のなかで、次代の北海道を担う後進の育成、アメリカ式農業の導入など、北海道開拓の礎を築きました。クラークが別れの際に農学校の職員・生徒に向けて述べたとされる「Boys, Be Ambitious（青年よ、大志を抱け）」という言葉は、北海道の開拓精神と結びつけられ広く知られることとなります。そうした功績を称えるべく、北海道大学、さっぽろ羊ヶ丘展望台にはクラークの肖像彫刻が複数設置されています。

本展ではさっぽろ羊ヶ丘展望台に設置されている《丘の上のクラーク》の石膏原型（札幌芸術の森美術館蔵）をはじめ、関連資料を展示し、北海道でのクラークにまつわる歴史をひも解きます。

会 期：2025年4月19日（土）～6月22日（日）

開館時間：9時45分～17時（6月は9時45分～17時30分）*入館は閉館の30分前まで

休 館 日：2025年4月21日（月）、4月28日（月）

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

観 覧 料：無料

主 催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）



坂坦道《丘の上のクラーク（石膏原型一部分）》
1976年、石膏、札幌芸術の森美術館蔵



坂坦道《丘の上のクラーク（エスキース）》
1976年、石膏、札幌芸術の森美術館蔵

お問合せ先 札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)

TEL：011-591-0090 FAX：011-591-0099 〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75
artpark-info@artpark.or.jp